

認定書

国住指第 4469 号
平成 28 年 3 月 30 日

オーウェンスコーニングジャパン合同会社
社長 神谷 晴之 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 63 条並びに同法施行令第 136 条の 2 の 2 第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
DR-1874(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・野
地板〔木質系ボード又はセメント板〕表張／支持部材〔木製又は鋼製〕屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・野地板 [木質系ボード又はセメント板] 表張/支持部材 [木製又は鋼製] 屋根

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
表面形状	シート状
厚さ (mm)	11.9 \pm 1.0以上 (支持部材を除く)
傾 斜 角	0° ~70°

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
葺き材	<p>砂付ガラス繊維入アスファルト系シート： (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)タイプA (別添-8 参照) ・ 大きさ：$336.5_{\pm 5} \times 984_{\pm 10} \sim 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$5.6_{\pm 0.6}$ (凹部 $2.8_{\pm 0.3}$) ・ 質量：$1.27_{\pm 0.1} \text{kg/枚} \sim 1.7_{\pm 0.1} \text{kg/枚}$ ・ 質量 (施工面積)：$8.9_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 14.2_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ (有機質量 $3.13_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 以下) ・ 構成^{※1}</p> <p>(2)タイプB (別添-8 参照) ・ 大きさ：$333_{\pm 5} \times 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$2.9_{\pm 0.5}$ ・ 質量：$1.13_{\pm 0.1} \text{kg/枚} \sim 1.68_{\pm 0.1} \text{kg/枚}$ ・ 質量 (施工面積)：$7.9_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 11.7_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ (有機質量 $2.58_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 以下) ・ 構成^{※1}</p> <p>(3)タイプC (別添-8 参照) ・ 大きさ：$333_{\pm 5} \times 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$2.9_{\pm 0.5}$ ・ 質量：$1.13_{\pm 0.1} \text{kg/枚} \sim 1.68_{\pm 0.1} \text{kg/枚}$ ・ 質量 (施工面積)：$7.9_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 12.3_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ (有機質量 $2.58_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 以下) ・ 構成^{※1}</p> <p>※1 構成</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 鉱物系粒子 …質量 (施工面積)：$2.7_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2 \sim 4.6_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 粒径：1～3 [2] 無機質系充てん材混入アスファルト …質量 (施工面積)：$4.7_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 8.2_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ 組成 (kg/m³)： { アスファルト…………… 1.6～2.9 { 無機質系充てん材 (炭酸カルシウム等) …… 3.1～5.7 [3] ガラス繊維マット …厚さ：0.3～0.5 質量 (施工面積)：$0.15_{\pm 0.01} \text{kg/m}^2 \sim 0.4_{\pm 0.01} \text{kg/m}^2$ 組成 (kg/m³)： { ガラス繊維…………… 0.1～0.3 { アクリル系樹脂バインダー…………… 0.05～0.13 [4] けい砂 …質量 (施工面積) $0.3_{\pm 0.03} \text{kg/m}^2 \sim 0.7_{\pm 0.03} \text{kg/m}^2$、粒径 0.1～1 [5] 接着剤：無機質系充てん材混入アスファルト系 …質量 (施工面積)：$0.05_{\pm 0.005} \text{kg/m}^2 \sim 0.3_{\pm 0.005} \text{kg/m}^2$ 組成 (kg/m³)： { アスファルト……………0.05～0.1 { 無機質系充てん材 (炭酸カルシウム等) …… 0～0.2

項 目	仕 様
葺き材 (つづき)	<p>[6] リリーステープ (養生テープ) ポリエチレンテレフタレート ・厚さ：0.01～0.015 ・質量：0.006±0.001kg/m² 但し、[1]～[6]を合わせた無機質の比率を78%以上とすること</p>
接着剤 (葺き材用)	<p>(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする (1) アスファルト系^{※2} ・質量：5±0.5g/箇所(固形量)以下(有機質量3±0.3g/箇所以下) ・組成(質量%)：$\left\{ \begin{array}{l} \text{アスファルト} \quad \dots 40\sim 60 \\ \text{鉱物質} \quad \quad \quad \dots 40\sim 60 \end{array} \right.$ ^{※2} 葺き材一枚につき最大5箇所塗布する (2) なし</p>
下葺き材	<p>アスファルト系ルーフィング：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) アスファルトルーフィング(JIS A 6005) ・単位面積質量の呼び：940(有機質量940g/m²以下) ・上下方向重ね幅：100～600 ・左右方向重ね幅：100～250 ・最大重ね枚数：4枚 (2) アスファルトルーフィング(JIS A 6005) ・単位面積質量呼び：1500(有機質量1500g/m²以下) ・上下方向重ね幅：100～600 ・左右方向重ね幅：100～250 ・最大重ね枚数：4枚 (3) 改質アスファルトルーフィング ・単位面積質量：2300g/m²以下(有機質量2200g/m²以下) ・構成(1枚あたり) $\left\{ \begin{array}{l} \text{[1] フィルム} \quad (1), (2) \text{のうち、いずれか一仕様とする} \\ \quad (1) \text{ ポリプロピレン系樹脂フィルム} \\ \quad \quad \quad \dots \text{質量(施工面積)} \quad 15\text{g/m}^2\sim 50\text{g/m}^2 \\ \quad (2) \text{ なし} \\ \text{[2] 鉱物質} \quad \quad \quad \dots \text{質量(施工面積)} \quad 100\pm 10\text{g/m}^2\sim 300\pm 0.3\text{g/m}^2 \\ \text{[3] 基材} \quad (1)\sim(3) \text{のうち、いずれか一仕様とする} \\ \quad (1) \text{ 原紙} \quad \quad \quad \dots \text{質量(施工面積)} \quad 20\pm 2\text{g/m}^2\sim 160\pm 2\text{g/m}^2 \\ \quad (2) \text{ 合成繊維補強紙} \quad \dots \text{質量(施工面積)} \quad 20\pm 2\text{g/m}^2\sim 160\pm 2\text{g/m}^2 \\ \quad (3) \text{ ポリエステル不織布} \quad \dots \text{質量(施工面積)} \quad 20\pm 2\text{g/m}^2\sim 160\pm 2\text{g/m}^2 \\ \text{[4] アスファルト(粘着系アスファルトを含む)} \\ \quad \quad \quad \dots \text{質量(施工面積)} \quad 1300\pm 100\text{g/m}^2\sim 2000\pm 100\text{g/m}^2 \\ \quad \quad \quad \text{うち改質剤(スチレン系熱可塑性エラストマー)}：10.0\text{質量}\% \text{以下} \\ \quad \cdot \text{上下方向重ね幅：} 100\sim 600 \\ \quad \cdot \text{左右方向重ね幅：} 100\sim 250 \\ \quad \cdot \text{最大重ね枚数：} 4 \text{枚} \end{array} \right.$</p>

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
野 地 板	<p>①, ②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①木質系ボード：Ⅰ～Ⅳのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>Ⅰ. 普通合板 (JAS)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ：$9_{\pm 0.5}$以上 <p>Ⅱ. 構造用合板 (JAS)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ：$9_{\pm 0.5}$以上 <p>Ⅲ. 構造用パネル (JAS)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ：$9_{\pm 0.5}$以上 <p>Ⅳ. 素地パーティクルボード (JIS A 5908)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ：$9_{\pm 0.5}$以上 <p>②セメント板：Ⅰ～Ⅲのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>Ⅰ. 木毛セメント板 (平成12年建設省告示第1401号)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ：15以上 <p>Ⅱ. 硬質木片セメント板 (平成12年建設省告示第1401号)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ：12以上 <p>Ⅲ. 木片セメント板 (平成12年建設省告示第1401号)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ：30以上
支持部材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 木製</p> <ul style="list-style-type: none">・形状寸法：□-20×30の断面寸法以上・間隔：606以下 <p>(2) 鋼製</p> <ul style="list-style-type: none">・形状寸法：①, ②のうち、いずれか一仕様とする① □-60×30×10×1.6の断面寸法以上② □-60×30×1.6の断面寸法以上・間隔：606以下

2) 副構成材料

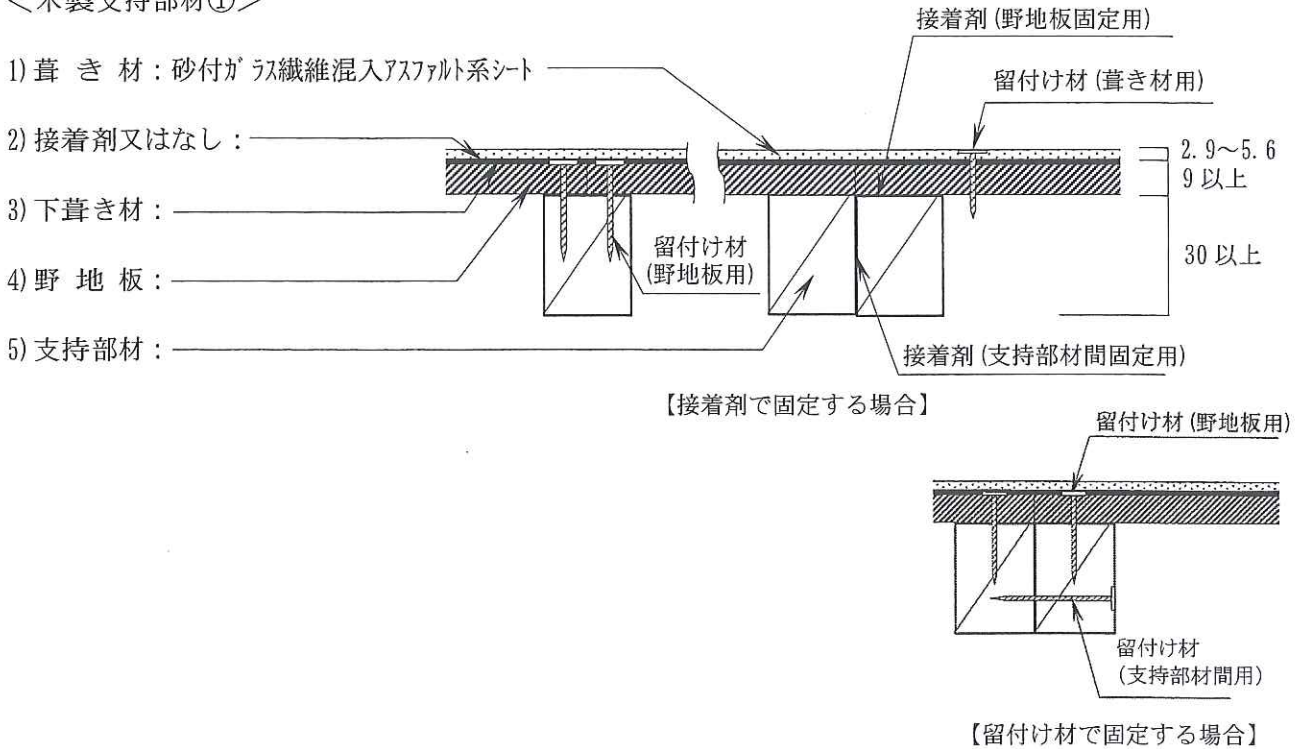
(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
留 付 け 材	<p>[1] 葺き材用：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス ・寸法：φ1.7以上×L25以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(2) シングルくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ2.9以上×L25以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(3) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ2.1以上×L16以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>[2] 野地板用：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス ・寸法：φ1.7以上×L25以上 ・間隔：500以下 <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ3.5以上×L25以上 ・間隔：500以下 <p>(3) なし (木製支持部材を接着剤で固定する場合に限る)</p>

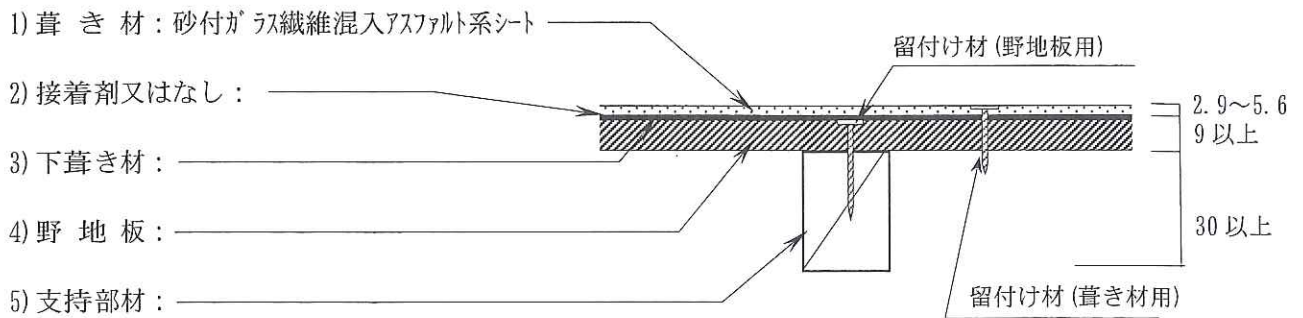
項 目	仕 様
留付け材 (つづき)	<p>[3] 木製支持部材間用：(1)，(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①，②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①鉄製 ②ステンレス ・寸法：φ2.75以上×L50以上 ・間隔：500以下 <p>(2) なし (支持部材を接着剤で固定する場合または支持部材が(2)の場合に限る)</p> <p>[4] 下葺材固定用：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①，②のうち、いずれか <ul style="list-style-type: none"> ①ステンレス鋼製 ②鋼製 ・寸法：内幅9.6以上、足長さ6以上 <p>(2) プチルゴム系防水テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量：125\pm10g/m以下 ・厚さ：1.0\pm0.2以下 ・幅：100以下 <p>(3) アクリル系樹脂防水テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量：80\pm5g/m以下 ・厚さ：1.0\pm0.2以下 ・幅：100以下 <p>(4) ゴムアスファルト系防水テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量：90\pm5g/m以下 ・厚さ：1.0\pm0.2以下 ・幅：100以下 <p>(5) なし</p>
接着剤 (木製支持部材用)	<p>[1] 野地板固定用：(1)，(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) エポキシ系樹脂……質量400g/m²(固形量)以下</p> <p>(2) なし(留付け材で固定する場合に限る)</p> <p>[2] 支持部材間固定用：(1)，(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 酢酸ビニル系樹脂……質量350g/m²(固形量)以下</p> <p>(2) なし(留付け材で固定する場合に限る)</p>

4. 構造説明図 (寸法単位 : mm)

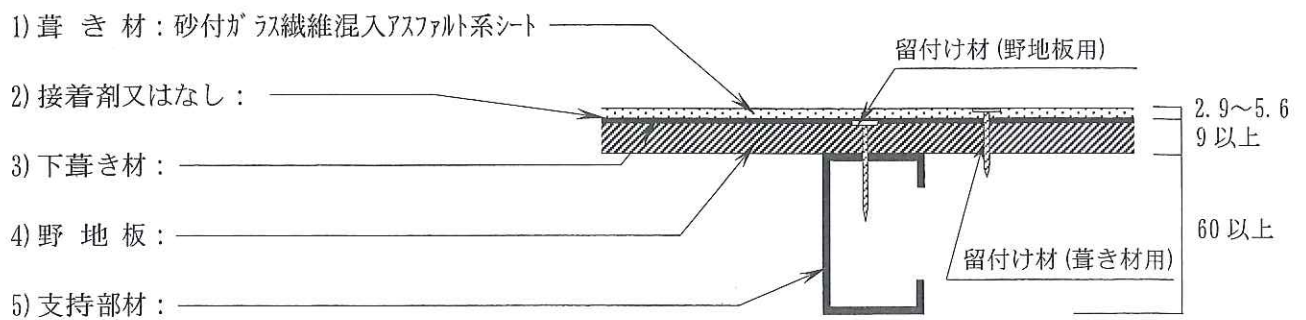
<木製支持部材①>



<木製支持部材②>



<鋼製支持部材>

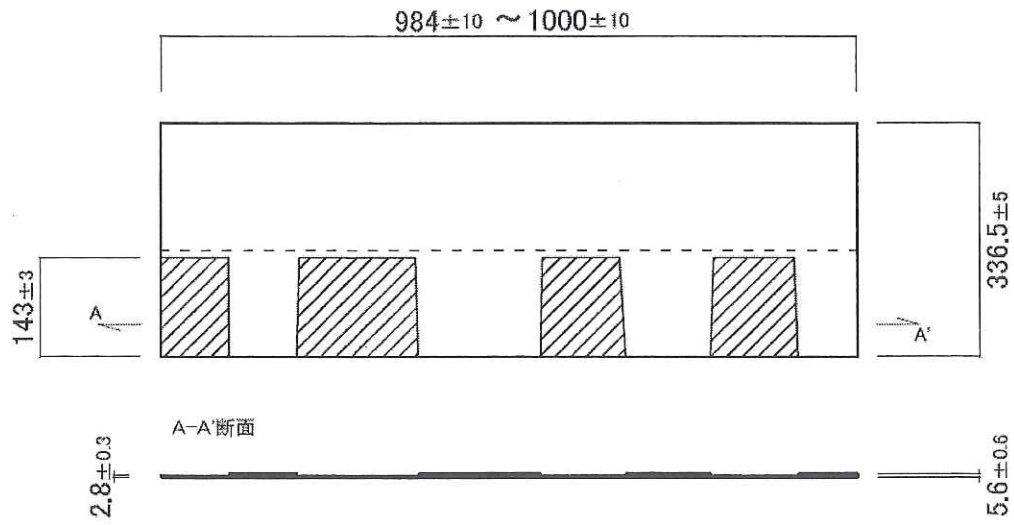


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

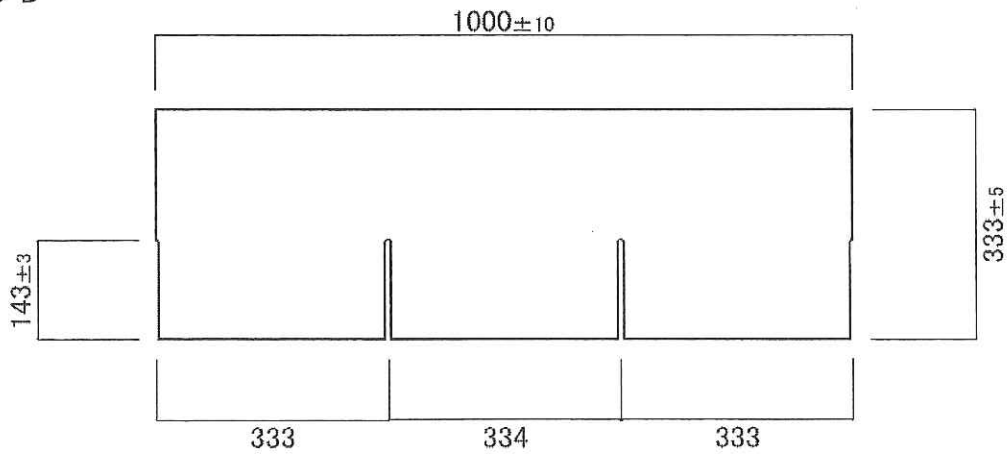
(寸法単位：mm)

<葺き材形状図>

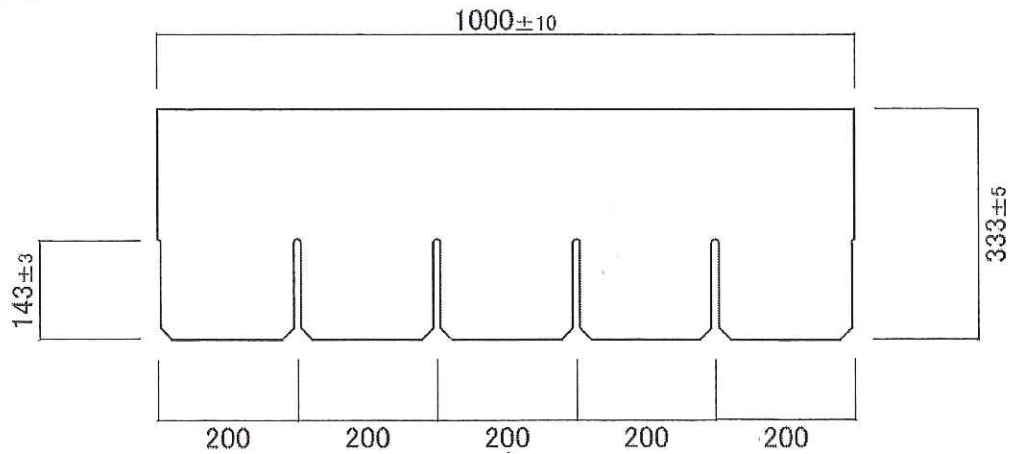
タイプA



タイプB

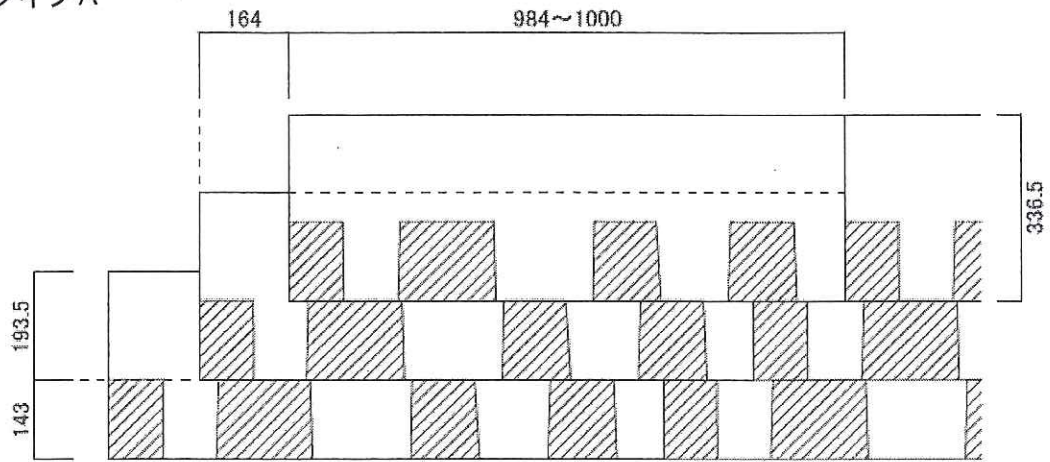


タイプC

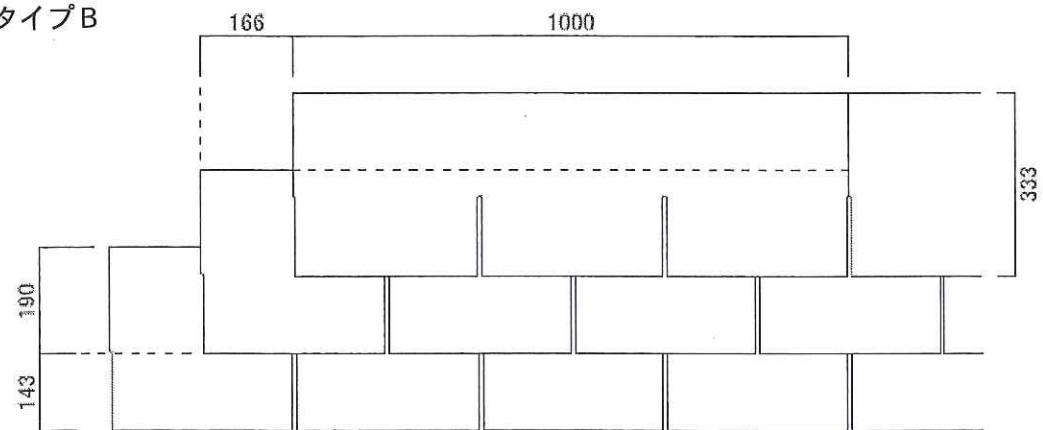


<重なり寸法図>

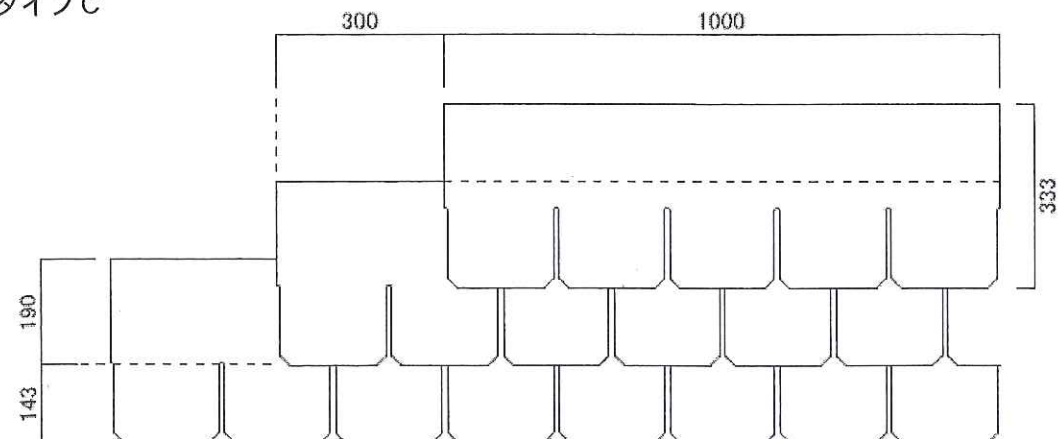
タイプA



タイプB



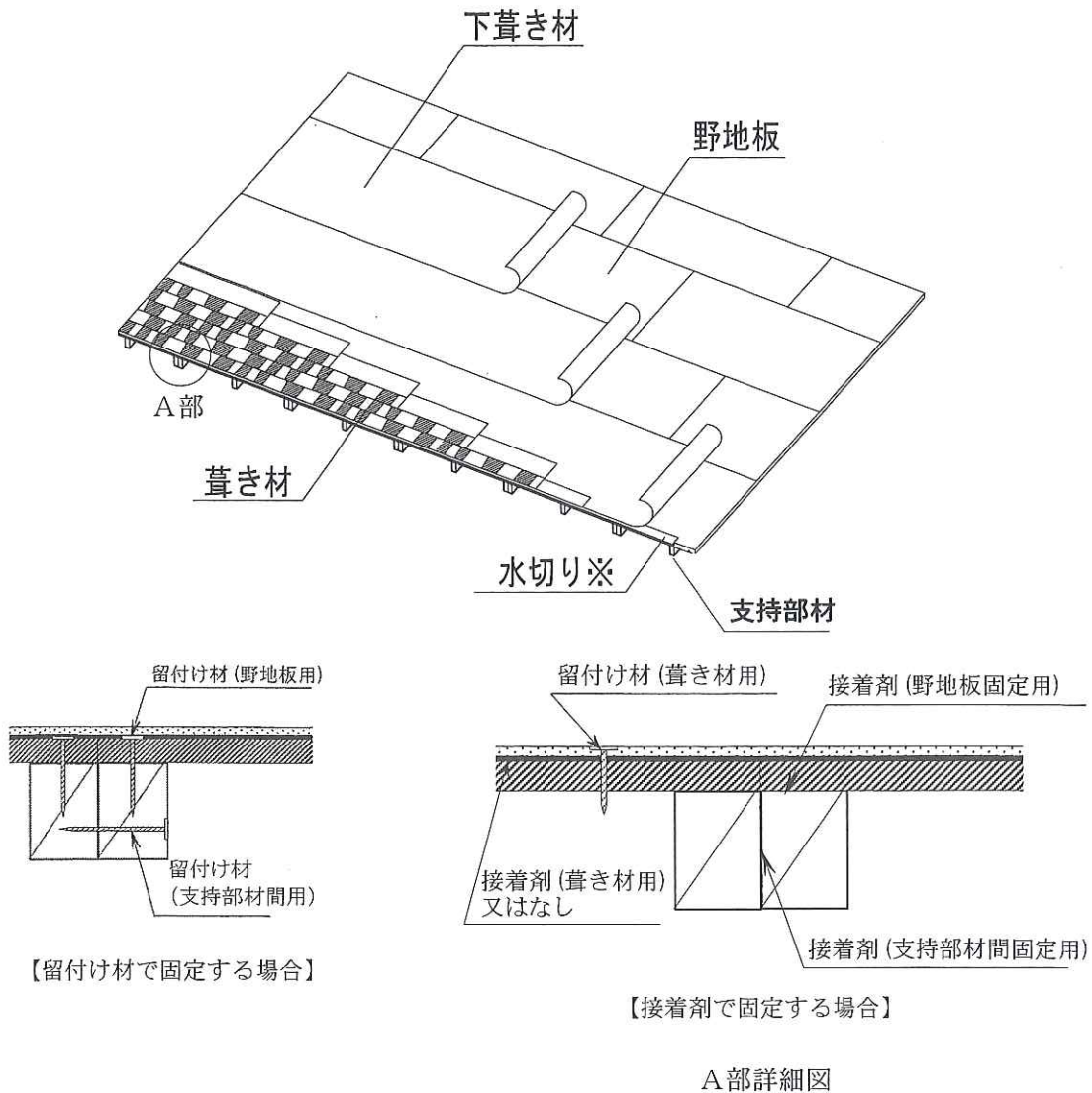
タイプC



5. 施工方法等

<施工図>

◆木製支持部材①



<施工手順>

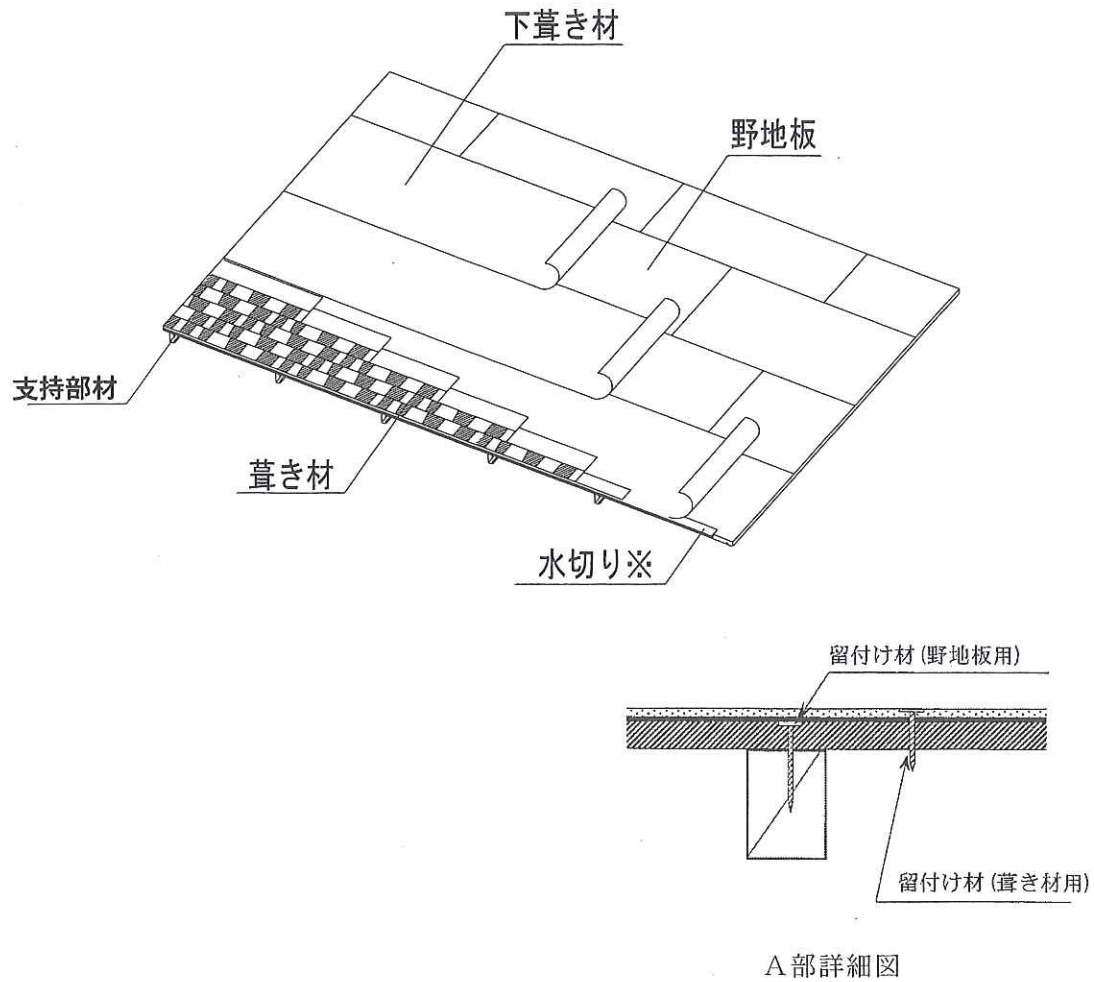
- ①支持部材を定められた間隔で施工する。
支持部材同士の接合部（A部）は、接着剤又は留付け材にて支持部材同士を固定する。
- ②野地板を敷きつめ、接着剤又は留付け材で支持部材に固定する。
但し、支持部材同士の接合部（A部）以外では、留付け材にて固定する。
- ③下葺き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葺き材の中段に塗布する。但し、葺き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葺き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

* : 本評価内容に含まない。

<施工図>

◆木製支持部材②



<施工手順>

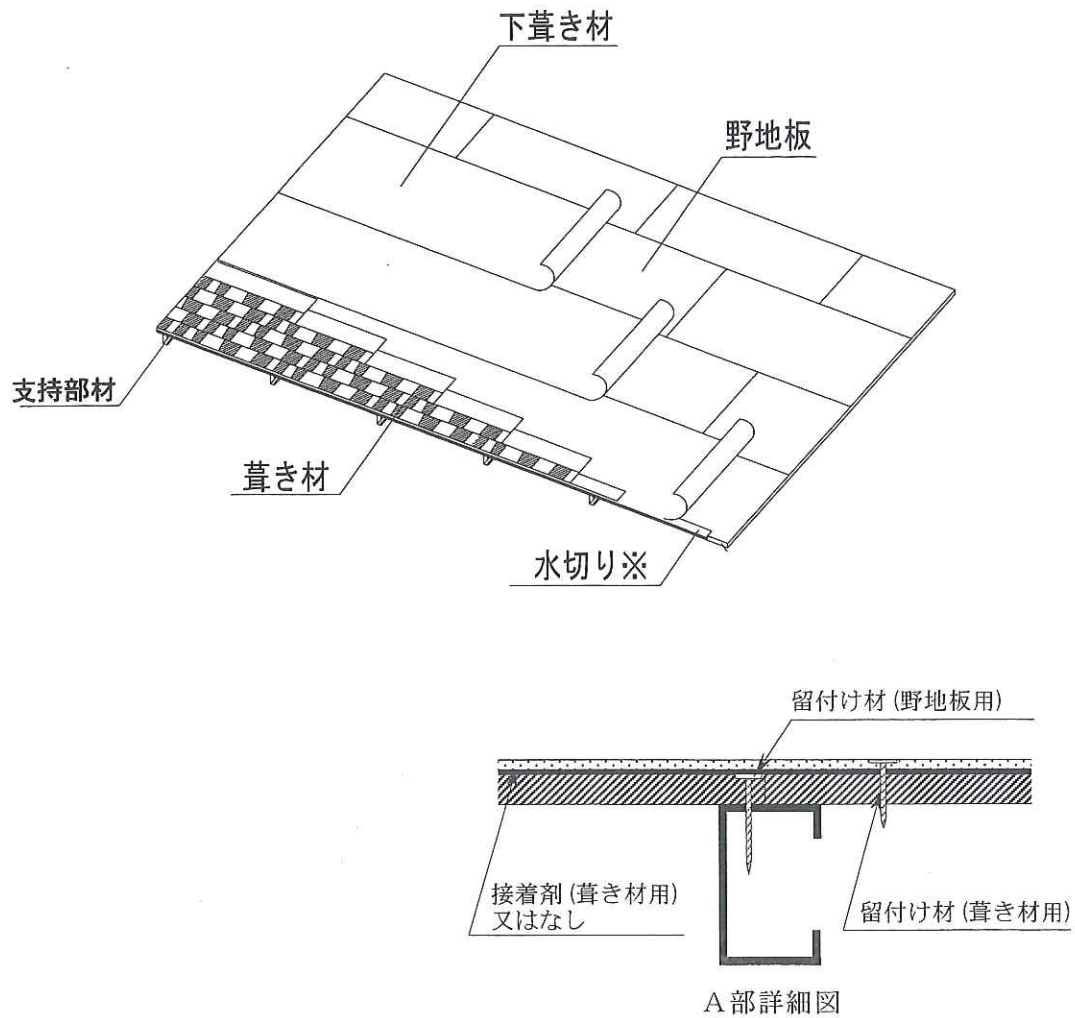
- ①支持部材を定められた間隔で施工する。
- ②野地板を敷きつめ、留付け材で支持部材に留付ける。
- ③下葎き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葎き材の中段に塗布する。但し、葎き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葎き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

* : 本評価内容に含まない。

<施工図>

◆鋼製支持部材



<施工手順>

- ①支持部材を定められた間隔で施工する。
- ②野地板を敷きつめ、留付け材で支持部材に留付ける。
- ③下葺き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葺き材の中段に塗布する。但し、葺き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葺き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

* : 本評価内容に含まない。